

2021 ~ 2022 年度国際ロータリーのテーマ

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

●会長 吉田 嘉昭
●幹事 松岡 泰光



No.1764 令和 04 年 03 月 02 日 第 30 回例会

※例会日 毎週水曜日 12:30~

※例会場 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内

※事務局 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内 TEL 354-4521 FAX 354-4053

※ URL <http://www.serc2720.org> ※ email serc@serc2720.org



■点鐘

■国歌斉唱「君が代」

■熊本東南ロータリークラブソング「Joyful and Good」

■来訪者紹介

卓話者 熊本東南RAC 櫻井一隆 君

来山奨学生

ティティコンサコルウオング,
サクピシット君

■今月の誕生祝い

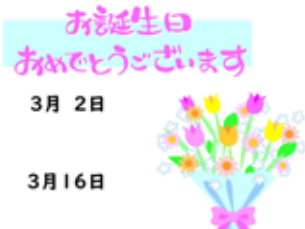
3月誕生祝

【会員】
前田 昭博 様

3月2日

【配偶者】
草村 久美 様

3月16日



■会長の時間 (会長 吉田嘉昭)

「V2H」について

会長の時間

「V2H」について

2022年3月2日

会長 吉田 嘉昭



1.V2Hとは

V2H : Vehicle to Home=VtoHの造語

電気自動車 (EV) ・プラグインハイブリッド車(PHEV)に蓄えた電気を家庭で利用するシステムのことを言います。

一般的なEV・PHEVは、家の方から電気をもらって充電します。逆に、車から家に電気を送ることはできません。



EVやPHEVのバッテリーに蓄えられた電気が「直流」、家庭用の電気が「交流」です。従って直流から交流、交流から直流に変換するための仕組みが必要になります。その役割を担うのがV2H機器です。



充電時間の大幅削減

V2Hは倍速充電ができるので、通常の家庭用200Vの充電器に比べると充電時間を大幅に短縮できます。

超大容量の蓄電システムを構築できる

EVとV2Hがあれば、自宅は超大容量の蓄電システムになります。



9.8kWh 一般家庭使用 約1日分

①非常用電源としては、家庭用の蓄電池(100万円程度)も普及し始めていますが、EVやPHEVのバッテリーはそれよりも、はるかに大容量です。

②車種によって性能は異なりますが、停電時でも家庭の電力を最大約5日間も供給できるとされています。

V2Hを利用した場合の給電可能時間例

車種	蓄電容量	給電可能時間(目安)
EV	40kWh	約5日間
PHEV	10kWh	約1日間

※1 条件: 1時間あたり400Wh使用、全電容量の80%を使用、V2Hの充電効率90%で試算。
※2 バッテリーのみを使用した場合の時間。インソンの発電を組み合わせた場合可能時間は大幅に増加する。

(3) エコロジー (環境保全) への貢献

①太陽光発電を利用している家庭でV2Hを導入すると、太陽光発電のクリーンな電気でEVやPHEVに充電し走行できる。
②太陽の出ない夜などにそのクリーンな電気を家へ戻し利用することができます。

再生可能エネルギーである太陽光で発電したクリーンな電気を家庭でなるべく多くご利用することにより、CO2排出量の削減に貢献できます。

(2) 電気自動車 (EV・PHEV) とV2Hの補助金

申請期間: 2021年度 2021年3月26日 ~ 2021年9月30日

補助金の金額

車種	経済産業省	建設省
EV車	37万円	79万円
PHEV車	上層60万円	EV車: 上層80万円
FCV車	上層30万円	PHEV車: 上層40万円
V2H	上層250万円	FCV車: 上層250万円
	商品: 上層75万円	商品: 上層75万円
	工事: 上層40万円	工事: 上層40万円

経産省/建設省で「共通」の交付条件
・車両販売会社から電気自動車(EV車)を直接購入
・2020年12月21日以降に新車新車登録
・電気自動車(EV車)とV2Hを同時に導入
・補助金を享受したら、定められた期間は保有(車は4年、V2Hは5年間保有すること)
・モニターに参照 (アンケートやPR活動に参照)

最後に

V2Hは非常にいいシステムと思いますが、個人的には、現時点ではEV購入やV2H導入は、時期早尚ではないかと思っています。

それは、EVの充電時間が自宅であれば、早くも8時間、急速充電器で30分~40分(80%充電)かかりますので利便性が良くない、補助金があるものの購入・導入コストがかかる、バッテリー劣化の程度がはっきりわかっていないからです。

災害対策を考えるとすれば、現時点では、100V用電源コンセント(1500W)を搭載しているPHEV(プラグインハイブリッド車)やHV(ハイブリッド車)を活用することがベターだと思っています。

■幹事報告 (幹事 松岡泰光)

■来信案内

1)

(堀川貴史 ガバナーエレクト、瀧満 地区研修リーダーより、RI 第 2720 地区 2022 ~ 2023 年度 地区研修・協議会開催の案内。

2.V2Hが注目されている理由

(1) 災害対策

台風や大雪などの自然災害による停電になった時に、EVやPHEVの大容量バッテリーを非常用電源に利用できます。



災害時のメリット(日中)

災害時のメリット(夜間)

(2) 電気代が節約できる

①夜間にEVやPHEVを充電すれば、車の走行コストを節約できる。(夜間電力は安い)
②大容量バッテリーに蓄えた電気を昼間の家庭で利用することで、家庭全体の電気代節約にもつながる。

太陽光発電量が大きければ



経済的メリット(日中)

経済的メリット(夜間)

3.V2H導入に当たっての留意点

(1) 導入にかかる費用が高額

給電する出力電力により価格が変わりますが、3kW~6kWであれば、製品と工事代で100~200万円程度かかる。



(3) バッテリーの劣化

電気自動車から家に電気を送ると、その分、電気自動車の充電回数が増加する。このため、走行のみで使用する場合よりもバッテリーが早く劣化していく。

(4) 経済性のシミュレーション

導入に当たり、機器の導入費、太陽光の発電量、電気の使用量、ガソリン代等を勘案したシミュレーションを専門業者に提出してもらおう。

メリット、ハイするまでの期間を知っておく



日時 ①全体会 2022年4月3日(日)

10:00~12:00(オンライン)

・RIテーマと地区方針 ・基調講演

②部門別協議会 2022年3月21日(月・祝)~

4月24日(日)※今後の予定参照

2)

大森克磨 ガバナー、森永隆二 地区幹事より、地区大会の登録延長について。

地区大会登録最終期限…2022年3月5日→2022年4月5日に延長

3)

大森克磨 ガバナー、開 克行 青少年奉仕部門長、後藤真吾 RYLA 委員長より、2021-2022年度 RYLA セミナーの案内。

日時 2022年5月27日(金)~29日(日)

場所 御所浦交流センター・近海

対象 18歳から30歳程度の青少年(先着20人)

■クラブより

1)

第9回定例理事会は、次週3月9日(水)に開催いたします。

■今後の行事

2022	03/12(土)~13(日)	会長エレクト研修 セミナー(PETS)	熊本県 熊本市	(熊本城ホール)
	山田公也			
	3月21日(月)	地区研修・協議会 青少年奉仕部門協議会	オンライン	熊本パレア
	新着			
	3月26日(土)	地区研修・協議会 職業奉仕部門別協議会	オンライン	(パレア)
	新着			
	4月2日(土) 午後	地区研修・協議会 管理運営部門別協議会	オンライン	(パレア)
	新着			
	4月3日(日) 午前	地区研修・協議会 本会議	オンライン	(NTT)
	新着			
	4月3日(日) 午後	地区研修・協議会 幹事部会	ハイブリッド	熊本パレア
	新着			
4月10日(日) 午後	地区研修・協議会 国際奉仕部門別協議会	オンライン	(パレア)	
新着				
4月17日(日) 午前	地区研修・協議会 会員増強部門別協議会	オンライン		
新着				
4月23日(土) 午後	地区研修・協議会 公共イメージ部門別協議会	オンライン	(パレア)	
新着				

2022	4月23日(土) 午後	地区研修・協議会 社会奉仕別協議会	オンライン	(パレア)
	新着			
	4月24日(日) 午前	地区研修・協議会 米山記念奨学会部 門別協議会(リアル & オンライン(世話 クラブ説明会含む)	ハイブリッド	熊本パレア
	新着			
	4月24日(日) 午後	地区研修・協議会 ロータリー財団部 門別協議会	オンライン	(パレア)
	新着			
	5月7日(土)	会長ノミニー研修 セミナー		(案内未着:地区HPスケジュールより参照)
	5月13日(金) ~ 5月14日(土)	地区大会	大分県 大分市	ホルトホール大分
	案内中			

■委員会報告

(青少年奉仕担当 宮川義行)



米山奨学生の卒業について

熊本東南ローターアクトクラブ活動報告

■出席報告

月日	会員数	出席者数	MU	修正出席者数	出席率(%)
02月09日	43 (免4) 39	23	16	39	100.00
02月16日	43 (免4) 39	22	17	39	100.00
03月02日	43 (免4) 39	24			

☆退会

☆出席免除

02月09日 住江正治 島村徹男 古庄浩二 志賀重人

02月16日 住江正治 島村徹男 古庄浩二 志賀重人

03月02日 住江正治 島村徹男 古庄浩二 志賀重人

☆欠席者

■卓話(青少年奉仕担当 宮川義行、熊本東南RAC会長 櫻井一隆)

「熊本東南ローターアクトクラブの現状とこれから」





熊本東南ローターアクトクラブ

会長 櫻井 一隆

- 2022年4月 ローターアクト入会
- 2022年4月 会報「UP」発行
- 2022年4月 会報「UP」発行
- 2022年4月 会報「UP」発行
- 2022年4月 会報「UP」発行
- 2022年4月 会報「UP」発行

熊本東南ローターアクトクラブ ローターアクト募集

ローターアクトクラブは、18歳以上の若い人が集まって、地域社会のリーダーと意見交換したり、リーダーシップと専門的なスキルを育みながら、楽しく奉仕活動を行います。

異業種交流 募金活動 清掃活動



国際交流 スポーツ レクリエーション



- ◆月会費：1,000円
- ◆例会日：毎月第2・第3火曜日
- ◆メイン会場：熊本市中央公民館
※会場は例会内容によって変更となる場合があります

2021-22年度開催予定

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
第1例会	7/13	8/10	9/14	10/12	11/9	12/14	1/11	2/8	3/8	4/12	5/10	6/14
第2例会	7/20	8/17	9/21	10/19	11/16	12/21	1/18	2/15	3/15	4/19	5/17	6/21

◆お問い合わせ先
Rotaract 熊本東南ローターアクトクラブ
 まずは見学からどうぞ！メールまたはLINEの友達追加後、お名前、連絡先とともに見学希望とお送りください。
 メール：tonan2720@yahoo.co.jp
 LINE：@086dregt



2021-22年度クラブターゲット

MAKE a difference UP

2020-21年度実績したことを形として持ち上げる
 (目標は) 3倍に上げる。3倍の収入、3倍の支出、3倍の活動、3倍の成果、3倍の成長、3倍の未来。

- 熊本東南ローターアクトクラブとの関係、国際ローターアクトクラブの協力を得る
- 会員増強、会員増強を促す、定員

アンケート調査 (会長幹事会より)

アンケート結果のグラフとコメント。

地区と熊本東南RACの現状

地区別の会員数とRACの現状に関する表。

アクト募集チラシ

ローターアクトの魅力を伝えるためのチラシの紹介。

会長MU

会長としての活動やMUに関する情報。

自己紹介例会

新メンバーの自己紹介を促すための例会の紹介。

次例会

次例会の日程と内容に関する案内。

1日体験

1日体験プログラムの詳細と申し込み方法。

クラブの3カ年計画

2021-22年度、2022-23年度、2023-24年度の3カ年計画の概要。

アンケート調査 (会長幹事会より)

アンケート調査の質問と回答の例。

現在のメンバー

現在のメンバーの紹介と写真。

クラブ内アンケート

クラブ内アンケートの実施と結果に関する情報。

子飼商店街

子飼商店街の紹介と活動に関する情報。

御所浦

御所浦の紹介と活動に関する情報。

熊本市内清掃活動合同委員会

熊本市内清掃活動合同委員会の紹介と活動に関する情報。

1日体験

1日体験プログラムの詳細と申し込み方法。

RYLAセミナー in 御所浦

2022年 5月27日(金) 28日(土) 29日(日) 【会場】 御所浦交流センター・近海

【テーマ】 次世代リーダーとしての職業観を磨く

ローターアクト青少年指導者養成プログラム ROTARY YOUTH LEADERSHIP AWARD

5月27日(金) 開講式、オリエンテーション、講話、オープニングパーティー

5月28日(土) 地域の清掃活動、講演・グループワーク、化石採集、漁師体験・調理実習、バーベキュー

5月29日(日) 地域の清掃活動、講演・グループワーク、閉講式

地区研修・協議会スケジュール(訂正版)

部門	日時	曜	時間	開催場所・開催方法	備考
全体会	2022年 4月 3日 (日)		10:00~12:00	オンライン (Zoom)	
幹事部会	2022年 4月 3日 (日)		13:30~15:30	熊本パレア・ハイブリッド	パレア会議室1 (9:00-使用可能)
管理運営	2022年 4月 2日 (土)		13:00~15:00	オンライン (Zoom)	
公共イメージ	2022年 4月 23日 (土)		13:00~14:45	オンライン (Zoom)	
会員増強拡大	2022年 4月 17日 (日)		10:00~12:00	オンライン (Zoom)	
職業奉仕	2022年 3月 26日 (土)		15:00~16:30	オンライン (Zoom)	
社会奉仕	2022年 4月 23日 (土)		15:00~16:30	オンライン (Zoom)	
国際奉仕	2022年 4月 10日 (日)		13:30~15:30	オンライン (Zoom)	
青少年奉仕	2022年 3月 21日 (月・祝)		10:00~12:00	熊本パレア・ハイブリッド	
ロータリー財団	2022年 4月 24日 (日)		13:00~15:00	オンライン (Zoom)	
米山記念奨学会 (大分)	2022年 4月 23日 (土)		9:00~12:00	ホルトホール大分・ハイブリッド	世話クラブ説明会含む
米山記念奨学会 (熊本)	2022年 4月 24日 (日)		9:00~12:00	熊本パレア・ハイブリッド	世話クラブ説明会含む

「真実かどうか」

投稿日: 2月 15, 2022

寄稿者: ジェレミー・オッパーマン (Newlands ロータリークラブ会員 [南アフリカ]、ロータリー DEI タスクフォースメンバー)

「大主教さん (The Arch)」の愛称で親しまれているノーベル平和賞受賞者、デズモンド・ツツ名誉大主教 (※) の誕生日イベントを見ていた私は、国際的に尊敬されているリーダーたちからのメッセージを聞いて驚きました。それらはいずれも、感情的で大きなお決まりの賛辞ではなかったからです。

南アフリカの大学教授であるトゥリ・マドンセラ氏、二人の元大統領 (南アのマンデラ元大統領、モザンビークのマシエル元大統領) の未亡人であるグラサ・マシエル氏、アイルランド元大統領で国連特別顧問 (環境) のメアリー・ロビンソン氏は、ツツ大主教への心のこもった短いメッセージを述べた後、すぐに「真実」について語り始めました。

腐敗、犯罪、気候変動、貧困……。その日の議題は、こうした世界的な問題でした。気取った言葉や外交的な美辞麗句はなく、ただ厳然たる事実が包み隠さず語られました。

これに驚いた人や落胆した人もいたでしょう。伝説的な存在ともいえるこれら3人の女性、そしてツツ大主教の親友であるダライ・ラマといった華々しい顔ぶれとともに、ツツ大主教の魅惑的な人生が大々的に紹介されると多くの人が期待していたでしょう。

しかし私は、素晴らしいと思いました。

真実を語る、と聞いて思い出すのは、最近、ある組織のハイレベルな戦略会議に出席していたことでした。自分たちの過去の過ちを強調したり、組織の過去の欠点を認めたりすることは、賢明または適切か? 会議出席者の中には、これに賛同せず、過去は重視せずにこれから良き慣習を築いていくことを強調すればよいと考える人もいました。その会議の主題は「多様性、公平さ、インクルージョン (DEI)」でした。

多様性とインクルージョンという点で変化をもたらしたいなら、これまでの欠点を隠さずに認めることは不可欠であると、私は断固として主張しました。その理由を尋ねられた私は、道を探ねるときのとえ話をしました。

道を探ねると、人びとはすぐにこう返してきます。「どちらから来たのですか?」

不慣れなところで前進したいと思うとき、過去にとらわれることを不快に思うのはよくあることです。問題なのは、ほとんど場合、現状をつくり出した原因は何か、ということへの認識の欠如です。この欠如は、まったくの無知による場合と、意図的な無視による場合があります。

過去を直視することで、衝撃的な事実と向き合い、変化が何よりも重要だという気づきにいたりします。なぜなら、現状維持という選択肢は絶対に受け入れられないからです。

非常に多くの組織や社会で DEI の取り組みが遅々として進まないのは、意図的であるかどうかを問わず、このような無知に起因しているのは確かです。変化を確実に進める方法を見極めるには、まず事実と現実を受け入れることが不可欠です。

だからこそ私は、多様性の実践者としての仕事を通じて、神話を取り除き、事実と現状を示すことに多くの時間を費やしています。南アフリカで障がいのある子どもの65%が学校に通っていないこと、国内にわずか400の特別支援学校しかなく、そのうち小学6年まで通える学校は70%未満であること、障がい者のうち雇用されているのは1%に満たないこと、公共交通機関のバリアフリーがほとんどないこと、盲目などが理由で印刷物を読むのが困難な人のための本やメディアが世界で6%にも満たないこと。これらはいずれも、私が伝えようとしている現実です。

そうするのは、哀れみを乞うためではありません。真実を伝えるのは、人びとを目覚めさせ、変化を促すためです。マドンセラ氏、マシエル氏、ロビンソン氏が、貧困、腐敗、気候変動における変化のための行動を呼びかけたように。

何ごとでも真実である限り、私はそれを語ることに心から賛同します。

(※デズモンド・ツツ名誉大主教: 南アフリカのアパルトヘイト政策に反対し、非暴力の撤廃運動を行ったことでノーベル平和賞を受賞。ロータリーのポリオ根絶大使として「あと少し」キャンペーンに参加。昨年12月26日に死去。)

本稿は『Rotary Africa | south』に掲載された記事を編集・翻訳したものです。

【プロフィール】



ジェレミー・オッパーマン
(Jeremy Opperman)

2020年にNewlandsロータリークラブ(南アフリカ、ケープタウン)に入会。網膜色素変性症(障がい徐々に進行して全盲にいたる先天性疾患)を患い、組織における障がい者雇用、ユニバーサルアクセスのためのビジネスケースの作成、障がい者のインクルージョンへの戦略的アプローチといったトピックについて幅広く講演、執筆、コンサルティングを行う。詳しい略歴はこちら。